

日本アンダーライティング協会 第72回教育講習会

アンダーライターの役割解説

日本アンダーライティング協会は9月27日、第72回教育講習会を対面とオンラインでのハイブリッド方式で開催した。講師にジェンリー再保険会社シンガポール支店長でアジア地域のチーフアンダーライター、クレムオファイサーであるアイリーン氏を迎え、「アンダーライターはもういらない？」をテーマに解説した。当日は143人が参加し、ライブ配信のほか、アーカイブでも配信が行われた。

アイリーン氏は、このアンダーライターの業務 10年でアジアにおける引 受査定業務がどのように 変化したかを俯瞰し、今 後の保険業界において、 アンダーライ

知識・経験生かしデータ利活用を

ターがどのよ うに重要な役 割を果たし続 けることができるかにつ いて解説した。

同氏は、各社が引受査 定業務の機械化に取り組 む中、昨今のコロナ禍が

2点目に商品の変化と

引受査定の簡素化の関係

の引受限度

わせにより、高度なリス

ク評価ができるようにな

ってきている。このルー

ルエンジンによって一部

の業務の置き換えはあ

るものの、リスク選択に

おいては、アンダーライ

ターの経験や知識は有効

であり、機械が学習する

にあたって活用されて

いる」と解説した。

3点目はデータを活用

することを挙げ、インシ

ュアテックと保険会社が

連携しながら商品を提供

することが進められてお

「活用方法について知見

を持ち、保険商品の販売

へつなげていくためには

アンダーライターの知識

が有用だ。アンダーライ

ターは引受査定業務のみ

ならず、お客さまにデー

ラーメイドな保険商品を

提供すること、ユーザー

フレンドリーな加入手続

きを実現すること等、さ

まざまな貢献が可能だ。

だからこそお客さま第一

であること、期待値に応

また、無診査

(告知書抜)

定することは、競争力を

高める仕組みとなるた

め、ここでもアンダーラ

イターの知見は生かされ

るされることになる。

「結果『アンダー

ライターはもういらな

い』とまとめた。

(文責：日本生命保険

契約部 青木弘子)